

## 平成 29 年度 地域生活移行部会 検討状況報告書

平成 30 年 1 月 19 日 更新

部会構成メンバー	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県立精神医療センター 松尾</li> <li>・みのわの里療護園 足立</li> <li>・うらら長岡 後藤</li> <li>・長岡市社会福祉協議会 桑原</li> <li>・㊦障がい者支援センターあさひ 萩野</li> <li>・㊦長岡市障害者基幹相談支援センター 齋藤・石黒</li> <li>・田宮病院 渋谷</li> <li>・桜花園 波形</li> <li>・長岡地域振興局 本間</li> <li>・㊦障害者相談支援センターとちお 田代</li> <li>※㊦…事務局</li> </ul>	
会議開催経過	議題・検討内容
【第 1 回】 平成 29 年 5 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の自立支援協議会について、説明と共有</li> <li>・地域生活移行部会活動予定の検討</li> </ul>
【第 2 回】 平成 29 年 6 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神グループと身障グループに分かれ、それぞれ昨年度の振り返りと、今後の方向性の確認。</li> </ul>
【第 3 回】 平成 29 年 7 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神グループはアンケート結果を確認しながら成年後見人と日常生活自立支援事業の担当者と情報交換。</li> </ul>
【第 4 回】 平成 29 年 8 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各 G の取り組みについて進捗状況を情報共有する。</li> <li>・今後の部会のスケジュールについて日程調整。</li> <li>・精神 G と身障 G に分かれて今後の検討を実施。</li> </ul>
【第 5 回】 平成 29 年 9 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 5 期障害福祉計画の概要等について確認・共有し、反映する内容について協議を実施。</li> <li>・ワーキングへの移行についてと、今後の部会の予定について。</li> </ul>
【第 6 回】 平成 30 年 1 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取組みの振り返りと評価を実施。</li> </ul>
取組 今年度 方針の	<p>昨年度の抽出した課題（身体・精神）の、より具体的な取り組み内容を検討する。</p> <p>※知的の「家族の不安」については今年度ワーキング移行。地域移行啓発のためのパンフレットをワーキングで作成することとなった。</p>
（全体会・運営会議へ特に報告が必要な内容） 進捗・成果	<p>【第 1 回】</p> <p>今年度の活動予定を決定。昨年度抽出された課題の具体的な取り組みの検討が次回よりできるように身体分野・精神分野に分かれて方向性を確認する。</p>
	<p>【第 2 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆精神 G：身元引受人の役割の整理・抱えている困難さ等を明確にすることを目的に、次回部会までに身元引受人についてのアンケートを実施。</li> <li>◆身障 G：地域移行について、「支援者向けの研修会」を行うこととする。ワーキングをたちあげ、具体的に企画運営行っていく。</li> </ul>

	<p>【第3回】</p> <p>◆精神G：身元引受人に関するアンケート結果を確認しながら、参加していただいた成年後見を行っている方・日常生活自立支援事業の担当の方から制度の説明とできることの確認を行った。</p>
	<p>【第4回】</p> <p>◆精神G：アンケート結果と前回の意見交換を踏まえて成年後見人のできる範囲の確認を行った結果、成年後見人が対応できることが意外に多くあると感じるメンバーが多かった。</p> <p>◆身障G：ワーキング開始予定である「支援者に対する研修会」のワーキングメンバーについての検討を実施。</p>
	<p>【第5回】</p> <p>◆精神科病院入院者や施設入所者の地域移行の目標人数についての確認。</p> <p>◆部会で取り組んでいる内容について、福祉計画への反映方法の確認と、福祉計画にたいして、部会で取り組めることについての確認。</p> <p>◆地域移行支援の現状と課題の確認。</p>
	<p>【第6回】</p> <p>◆振り返り・評価シートに沿って、振り返りと評価を実施。</p> <p>今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)として…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会員から、交代等で運営会議に参加してもらおう等の形が良いかも。 ⇒全体が見えないと、協議会の全体が繋がらないかも。</li> <li>・協議会に参加している職員だけでなく、そこから組織での取り組みに繋げる必要があると感じた。 ⇒協議会を知らない人に、どうやって伝えていくか。</li> <li>・身/知/精のグループに分かれたことが良かった。検討しやすかった。しかし、その反面、部会自体の立ち位置について分かりにくくなった。</li> <li>・開催回数については、大変だったが対応困難な回数ではなかった。</li> <li>・異動等を考えると、課題について1年以内に完結できるとベストではないか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">等の意見が挙がった。</p>
<p>今後の検討の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステム構築に向けた協議の場として、協議検討を行う。まずは、地域の現状の確認から行い、メンバー間で共有しそれぞれの障害における課題として共通する部分について取り組んでいく。</li> <li>・部会の構成メンバーとしては、入所施設や病院障がい者が生活している事業所の方と、在宅支援の事業所の方等で検討。</li> <li>・必要に応じて、メンバーに家族会や当事者の方々への招集も検討。</li> </ul>
<p>運営会議への 伝達事項等</p>	<p>(運営会議で協議して欲しい事項など)</p> <p>地域移行だけではなく、住み慣れた地域で住み続けられることについても考えていくべき。そのため部会名は、現在の「地域生活移行部会」から、「どこでだれと暮らしたいか部会」に変更することを提案。</p>